

発達障害者の聴覚の問題とその軽減を目指す研究

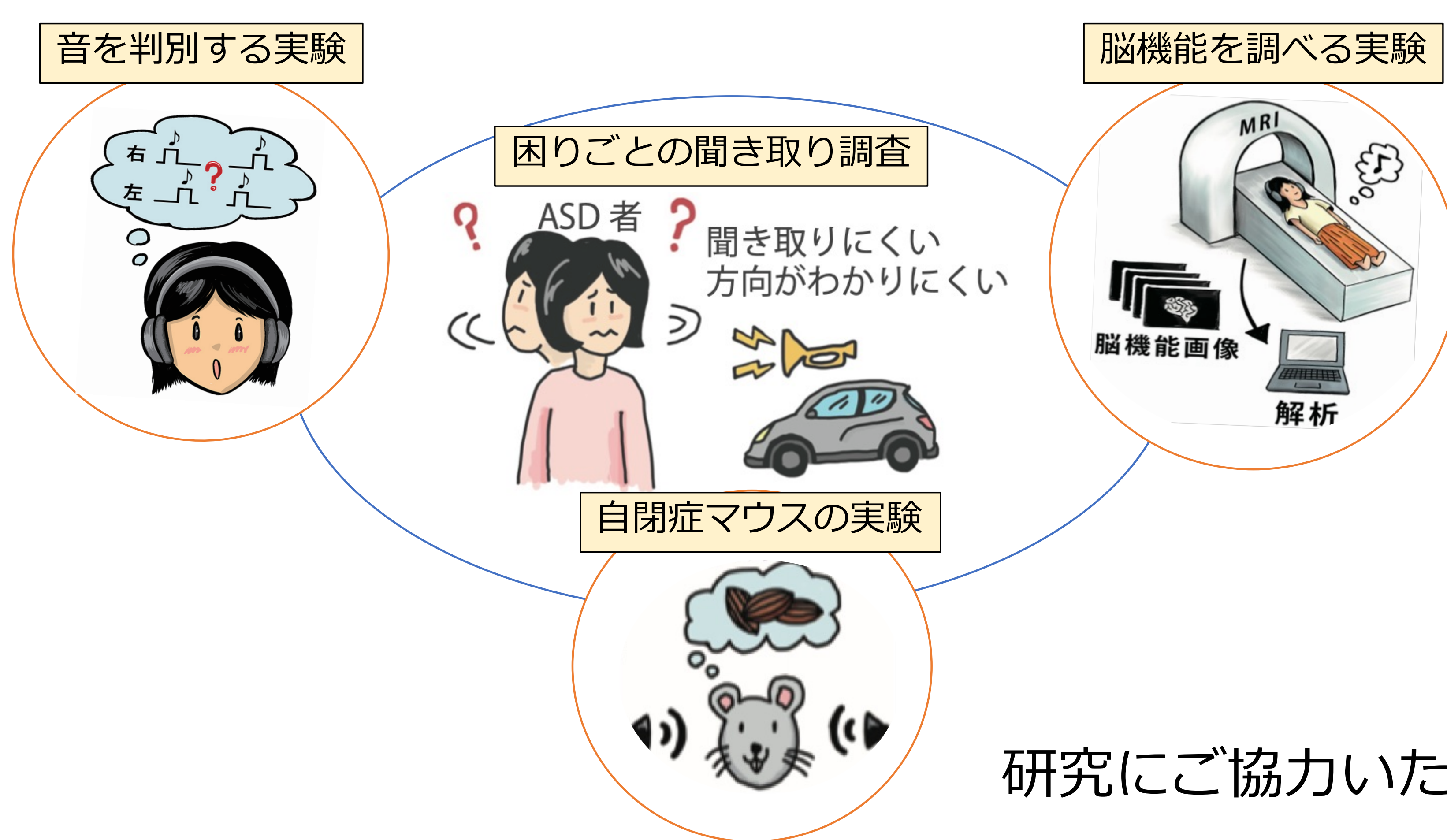
発達障害の方で特に問題になる聴覚過敏について、その特性を調査したり、支援のためのシステムを開発する研究を行っております。

聴覚の問題

発達障害の当事者の多くが、日常生活の中で様々な感覚の問題をお持ちであることが知られています。過去に本研究室で行った研究から、その中でも最もつらい感覚の問題として、聴覚（音）にまつわる問題が多いこと、またその多くは「特定の音や大きい音が辛い」という聴覚の過敏と「騒がしい環境では話している相手の声を聞き取るのが難しい」という選択的聴取の困難に分類されることがわかりました。

現在、こうした聴覚の問題を解決するための手法について研究を進めております。

研究1：聞こえの問題の解明と解決を目指す研究



研究にご協力いただける方を募集しています！

研究2：聴覚過敏の問題を緩和する知覚体験補正システム

専用のスマホアプリを使い、音 vs 感じ方のデータを収集する



集めたデータをもとに……

音への辛さに関する分析

問題となる音の傾向とは？

まったく新しい支援機器の開発へ

スマート耳栓
聞こえる音を変化させストレスを軽減。

過敏ナビAI
過敏性が出そうな時アドバイスしてくれる。

疲れから音が気になりそうな時間帯です。一休みしませんか？



参加者募集に関する連絡先
→ dds_exp@rehab.go.jp
(左のQRコードからもお問い合わせいただけます)

和田 真 (脳機能系障害研究部・発達障害研究室長)
wada-makoto@rehab.go.jp
佐藤 彩 (脳機能系障害研究部・流動研究員)
satou-aya@rehab.go.jp
市川 樹 (脳機能系障害研究部・流動研究員)
ichikawa-itsuki@rehab.go.jp

聴覚にまつわる問題を詳しく調べ、その解決を目指します